

～目次～

- 【1】TKK活動
- 【2】関連団体の活動
- 【3】行政等の活動
- 【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 —
 — < >のカッコは、連続ものを指します—

【1】TKK活動

* *

●東京都及び各政党へ各種施策を要望する「予算要望書」を提出、都及び各政党のヒアリング

9月6日(火)午後:東京都、都議会公明党、都議会自民党、都議会生活者ネットワーク、都議会民進党
 公明党、生活者ネットワーク、民進党については面談。

9月15日(木)午前:東京都福祉保健局のヒアリング。

●TKK第3回理事会 9月23日 午後

- ・平成29年度の事業計画について

「TKK 発足15周年及び NPO 法人設立10周年記念事業」を実施、平成 29 年 8 月 27 日(日)、浜離宮朝日
 ホール(小ホール)で開催予定

- ・「2017 年度(平成 29 年度)高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」について

平成 29 年 5 月 14 日(日)、11 月 26 日(日)の 2 回開催、会場は例年通り、慈恵医大西新橋校大学 1 号館 3 階

○<高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=158

2016 年度 第 3 回 12 月 11 日(日)、慈恵医大西新橋校、受講申込み受付は、11月6日(日)から

- ① 渡邊 修氏 [脳損傷後の病識低下の理解と対応]
- ② 四ノ宮 美恵子氏 [若年高次脳機能障害者の働く力を育てる、支えるために]
- ③ 稲葉 健太郎氏 [~職業準備訓練 ジョブコーチ支援のポイント]
- ④ 石渡 和実氏 [高次脳機能障害者の生活を守る～成年後見制度など様々な制度利用]

○<2016年度医療及び家族相談会>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=162

第3回までは終了。引き続き 11月、2017年1月、3月に開催。

なお本年度からご相談は各回とも先着順で1回に3組まで、1組につき1時間を目途として順次ご相談に応じます。

【2】関連団体の活動

* *

●第三回 キッズネットワーク宿泊イベント 主催:ハイリハキッズ

9月17、18日 富山県呉羽青少年自然の家

====自然の家で宿泊イベントを実施、全国各地から当事者、家族、ボランティアを含め 109 名が参加しました。
メイン活動は中高生以上のグループトーク、同じ障害をもつ仲間同士、自分のことばで自分の思いを語り合いました。

==== ハイリハキッズ代表 中村千穂

その様子はKNBテレビで紹介された。

http://www.knb.ne.jp/bangumi/news/article_detail.html?sid=2708&date=20161007



●第7回高次脳機能障害家族会、3区(目黒、品川、大田)合同企画イベント 10月16日(日)

主催:目黒区高次脳機能障害者家族会、品川区高次脳機能障害者と家族の会、フォーラム大田高次脳

詳細は、<http://www.msccabin.org/wp-content/uploads/2016/09/161016meguro.pdf>

この日の様子が TBS ラジオにて高次脳障害についての特集番組として放送された。

詳細は、<http://www.tbsradio.jp/85035>

●ハイリハ東京学生ボランティア勉強会 主催:ハイリハ東京、10月21日夜、日本福祉教育専門学校

講師:鈴木勉氏 ST 江戸川区地域活動支援センターはるえ野

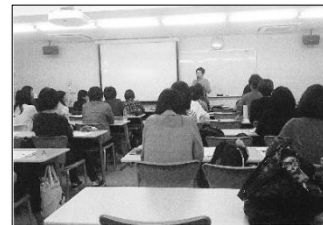
西脇恵子氏 日本歯科大学附属病院口腔介護リハビリテーションセンターST

廣瀬綾奈氏 千葉リハビリテーションセンター ST

井上澄香氏 千葉リハビリテーションセンター ST

小澤京子氏 ハイリハ東京代表

小澤希予志氏 ハイリハ東京会員当事者



====臨床士や療法士を目指している専門学生・大学生を対象に「高次脳機能障害とは」「小児の高次脳機能障害」「ハイリハ東京の活動」「当事者の思い」「ボランティアとしての心得」等を講師の先生や当事者に話をさせていただきました。
====ハイリハ東京代表 小澤京子

●講演会「高次脳機能障害を生きる」 主催:朝日新聞厚生文化事業団、10月30日(日) 浜離宮朝日ホール

基調講演:当事者と家族への理解と支援 :上田 敏氏(元東大教授)

私の言いたいこと:小林 春彦氏(当事者東大先端研 DO-IT リーダー)、石黒 順子氏(当事者高校事務員)

対談:橋本 圭司氏、小林 春彦氏、石黒 順子氏

==== この講演会は TKK も後援団体として応援。冒頭の「リハビリテーションとは人間らしく生きる権利の回復と考えるべきである!」との言葉、及び高次脳機能障害についての丁寧なご説明、改善に向けた対応と支援事例等々、上田先生のご講演からは、いつも当事者とその家族への深い慈愛が感じられます。三人の対談は、橋本先生の見事なリードの元、進められました。小林氏の「障害の重さと生活の困難さは比例しない」「障害の揺らぎ」において

賛同。適切な「支援・配慮」を得る為には、「高次脳機能障害者自らの、障害についての強い説明責任が求められる」と言っておられた。しかし、説明出来る方は良いが、病識欠如がありがちな当事者や障害が重い方ほど、支援・配慮が必要な方ほど、自ら説明できるのか？やはり家族や支援者の説明も必要なのでは？とも思いました。石黒氏は現在、学校事務職員として見事社会復帰なさいましたが、障害克服への彼女ならではの工夫・努力に感動でした。

====TKK 理事長 細見みゑ

○「言葉のきずな」という自主製作映画の上映会 主催：世田谷高次脳機能障害連絡協議会（世高連）

11月19日（土）13:00～16:30、烏山区民会館、無料

詳細は、<http://kouji-kazokukai.org/bbs/20160914/309.html>

○第30回ドリームサロン～高次脳機能障がいを知ろう、語ろう、もっと身近に～ 主催：調布ドリーム

11月19日（土）13:00～16:30、会場：高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム

第1部 講演会「子どもの高次脳機能障害の理解と対応」

講師：帝京平成大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻教授 中島 恵子氏

第2部 当事者と共に語り合おう！

◇申し込み：TEL・FAX:042-444-3068 E-mail:info@chofudream.com

○「つつじの会定例会」 主催：つつじの会

11月26日（土）9:30～12:00 船堀タワー 小ホール

◇問い合わせ・申し込み 江戸川高次脳機能障害江戸川つつじの会、☎03-3655-5580

====劇団員の中に高次脳機能障害の方が在籍しているハードレイン・オープンカフェ。その演技は、劇の中に引き込まれてしまうぐらいです。演目は、当日のお楽しみ。====つつじの会代表 後関春美

○障害別相談会（高次脳機能障害）「高次脳機能障害のご家族とともに」 主催：フォーラム大田高次脳

11月26日（土）13:30～15:30 大田区障害者総合サポートセンター 5階多目的室

講師/相談員：酒井弘美先生 東京工科大学 医療保健学部 作業療法学科 准教授

◇問い合わせ：フォーラム大田高次脳代表 栗城優子 ☎&FAX:03-3730-6823

e-mail:kurishiro@live.jp

○「心の唄 16～共に生きる」10周年 主催：心の唄実行委員会、品川区高次脳機能障害者と家族の会他

12月11日（日）イベント 11:00～ 開演 14:00～ きゅりあん大ホール（8階）大井町駅前

◇問い合わせ・申し込み：フォーラム大田高次脳代表 栗城優子 ☎&FAX:03-3730-6823

e-mail:kurishiro@live.jp

○失語症をお持ちのご本人様、ご家族様対象 相談室 主催：言語生活サポートセンター

相談日：今年度は12月10日、2月4日、午前10時半、午後1時、午後3時（おひとり1時間半）

詳細は、<http://www.gengoseikatsu.com/2016/04/05/株-言語生活サポートセンター-失語症なんでも相談室/>

【3】行政等の活動

* *

●「高次脳機能障害 講演会」(TKK 受託事業) 10月22日 みなとパーク芝浦リーブラホール

主催:港区、委託先:NPO 法人東京高次脳機能障害協議会(TKK)、協力:「みなと高次脳」

講演1:先崎章氏「認知症、精神疾患、高次脳機能障害～どう違うの? どう対応すればいいの?」

講演2:鈴木亜都佐氏「高次脳機能障害になられた方を繋ぐ～ソーシャルワーカーの役割と事例紹介」

====先崎 章先生のご講演は、認知症、精神疾患、高次脳機能障害のそれぞれのテーマに添った詳細な説明や見分け方、生化学的な原因等々あらためて勉強になりました。また、上記テーマということもあり、参加者の半数以上が当事者だったことにびっくりでした。鈴木 亜都佐先生のご講演は、患者様の今までの生き様とニーズに添い、当事者とご家族の人生を先の先まで考え慈恵会医科大学付属第3病院の退院から地域につなぐ MSW ならではのご講演でした。このような MSW さんが、どの病院にもおられたら、当事者も家族の方もどんなにか助かるのに、と思わざるを得ませんでした。====細見みゑ

●第2回北多摩南部医療圏「高次脳機能障害地域研修会」、10月23日(日)、慈恵会医科大看護学科1階大講堂

・講演:高次脳機能障害に対する集団療法の経験:石川 篤(慈恵第三病院 リハビリテーション科 OT)

・調布市内の事業所の報告～事例をとおして～:当事者及びドルチェ若草(生活・作業所前準備)、就労移行スマイルパーク(就労準備訓練)、就労支援室ライズ(職場定着支援)

・事例検討・報告:坪井麻里佳(慈恵第三病院 リハビリテーション科 医師)

====高次脳機能障害に対する集団療法については、NPO 法人 JUTRA の当事者・家族ボランティア支援プログラム「オレンジクラブ」が有名である。しかし、効果が分かっているのに現状は、やり方が分からない・人手がない・収益がない等の理由で地域になかなか普及しない。それなら医療枠で行うという「医療モデルオレンジクラブ」の構想であった。医療枠で行えば、精査が出来る、マンパワー・運営資金・施設や設備など般化し易い、医療と地域との距離が近付く、プログラムの種類も増やすことが出来る等々の利点があるなど、石川先生のご講演は非常に興味深い内容であった。====細見みゑ

●平成28年度第2回東京都高次脳機能障害者相談支援研修会「小児期の高次脳機能障害の理解と支援」

10月28日(金)、たましん RISURU ホール(立川市)、事務局:都心障センター

・講演:小児期の高次脳機能障害の理解と対応:中島恵子(帝京平成大学大学院 臨床心理学 教授)

・シンポ:小児期の高次脳機能障害—支援の現状と課題—:中島恵子、中村千穂(ハイリハキッズ代表)、池上洋(都立小児総合医療センターOT)、林田麻理子(都立城北特別支援学校教諭)

====中島先生の「子どもの脳損傷は、認知・感情・行動に影響し、負の連鎖になる。これに対応するには、学校の成績を良くすること、家族が安定することが重要。0～2才(ニューロンの再選別と刈込が加速度的に進む)、3～5才(ニューロン間の相互接続が急速に拡大、学習能力が加速)、6～9才(前頭葉と海馬、側頭葉の大部分が完成)、10～15才(ニューロンの相互接続がより複雑に、大脳半球が最大限に活用、海馬と側頭葉は完成)、16～25才(前頭葉の発達完了、神経随鞘形成完了)の年齢別の対応や支援方法、具体的事例について等々」は、大変勉強になりました。シンポジウムで、「家族が想う支援のあり方」について、中村千穂氏から非常に有益なお話を沢山聞く事が出来た。その中で、「とある支援者から、脳を受傷したことやその原因を考えないように、と言われたが、そんなことは言わないで欲しい。原因があったから今こうなっているのだから、受傷によってどんな思いでいるかを理解して欲しい」、とおっしゃっておられたことが特に印象深く心に残りました。====細見みゑ

- 「高次脳機能障がい当事者・家族交流会」 共催：調布社会福祉協議会・杜のハーモニー♪
11月5日（土）13時～17時 調布市総合福祉センター4階 生活支援室①&クローバー室
① 午後1時～2時半（全体会）
② 午後2時半～5時（個別相談、一人30分）
ファシリテーター：国立障害者リハビリテーションセンター 臨床心理士 四ノ宮美恵子氏
◇問い合わせ・申し込み：調布市障害者地域活動支援センター ドルチェ
☎042-490-6675 FAX 042-444-6606 e-mail dolce@ccsw.or.jp

○「子どもの高次脳機能障害について」

- 北多摩北部二次保健医療圏における東京都高次脳機能障害支援普及事業講演会
11月5日（土）13:00～16:00 多摩北部医療センター2階大会議室（東村山市青葉町1-7-1）
対象：全ての医療機関・教育機関勤務者等
講師：太田 令子氏
千葉リハ 高次脳機能障害支援アドバイザー 富山県高次脳機能障害支援センター アドバイザー
◇問い合わせ：多摩北部医療センター 地域医療連携室 中西 TEL：042-396-3811（内線2073）

詳細は、

http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardCode=FB20_1146458424&boardAct=view&crtPage=1&readNum=193&replyNo=182

- 「新宿区」高次脳機能障害者支援事業高次脳機能障害者支援セミナー 主催：NPO 法人VIVID（ヴィヴィイ）
11月19日（土）13時30分～16時30分 新宿区 四谷地域センター 12階 多目的ホール
講演会：高次脳機能障害者の就労に向けて
講演1「障害者の就労支援のしくみ」：朝日雅也氏
講演2「自立に向けて、働くことを考える」：野々垣睦美氏
◇申し込み：「VIVID」 FAX：03-5849-4831、申込用紙は下記 URL からダウンロード
<http://www.vivid.or.jp/images/stories/pdf/161119semina.pdf>

○「高次脳機能障がい講演会」 障害者地域自立生活支援センター事業

- 11月25日（金）14:00～16:00 ムーブ町屋 ムーブホール（荒川区荒川7-50-9 センター町屋3・4階）
第1部：「高次脳機能障がいの回復に向けて」
東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 教授 渡邊修氏
第2部：「対談-当事者の声」、当事者：ディジュリドウ奏者 GOMA さん／渡邊修氏
詳細は、<http://www.jikei-reha.com/?p=4456>

○＜第1回港区地域福祉フォーラム ～つながり、支えあうまちをつくるため～＞ 主催：港区社会福祉協議会

- 11月30日（水）10:00～16:30 高輪区民センター（港区高輪1-16-25 Tel:03-5421-7616）
◇問い合わせ：Tel:03-6230-0283 Fax:03-6230-0285（社会福祉協議会 企画担当）
詳細は、<http://www.minato-cosw.net/uploads/information/2016forum.pdf>

====安心して暮らせるまちづくりをめざし、区民センター全館を使い地域福祉を支えるさまざまな団体の紹介と理解を深める一日です。高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会「みなと高次脳」は、区民ホール（1階）のフロアで活

動紹介とパネル展示をします。シンポジウム、講演会、ミニ福祉機器展、相談コーナー、応急手当体験コーナー、企業協力の憩いのコーナー他いろいろあります。 = = = = みなと高次脳代表 高井玲子

○区西南部高次脳機能障害者支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実 講演会」

<http://www.tamagawa-hosp.jp/otherclinic/458/>

11月30日(水)、19時00分～20時30分、三茶しゃれなード 5階 ホール オリオン

- ・「失語症とコミュニケーション障～在宅生活での関わり方～」ソフィア訪問看護ステーション成城 ST 新家尚子氏
- ・「失語症会話パートナーについて」世田谷区総合福祉センターST 安保直子 先生

申込は上記 HP の別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX(03-3700-1172)してください。

○失語症講演会「命の火ふたたび」 一生、脳イキイキと！ 主催：葛飾区地域活動支援センター

12月3日(土) 午後1:00～4:00 ウェルピア かつしか1階 ひがほりめもりあるほーる

講師：横張 琴子氏（国立国際研究センター国府台病院非常勤言語聴覚氏）

◇問い合わせ・申し込み：葛飾区地域活動支援センター（ウェルピア3階）、☎ 5698-1336

○江戸川区高次脳機能障害普及啓発講演会「江戸川区で高次脳機能障害と生きる」

12月4日(日) 11:00～15:00 タワーホール船堀 2F 主催及び問合先：江戸川区地域活動支援センターはるえ野、
入場無料、申込み不要

- ・ 11:00～12:30 講演会「江戸川区で高次脳機能障害と生きる」当事者×松本支援者×長谷川医師
- ・ 13:30～15:00 展示ブース紹介「当事者・家族会、福祉機器の紹介」

TKKも参加～展示ブースを開催、加盟団体や活動内容の紹介・発表～

○港区高次脳機能障害理解促進事業「支援者・専門家向け高次脳機能障害研修会」

第1回目平成29年1月25日(水)、第2回目2月1日(水)、共に18:30～20:30、みなとパーク芝浦1階リーブラ
ホール、主催：港区、事業委託事業者：TKK、参加費：無料、申込先(12/11～1/24)：みなとコー 03-5472-3710、
上記期間以外の申込や問合先：港区障害者福祉課 03-3578-2457

第1回目29年1月25日(水)18:30～20:30

- ・講演「高次脳機能障害者の一人暮らし支援」：原 貴敏医師(慈恵医大本院リハビリ科)
- ・報告会：「事例から考える：一人暮らし支援について」原 貴敏医師×当事者×自立支援員×相談支援
専門員×介護職員

第2回目2月1日(水)18:30～20:30

- ・講演「高次脳機能障害者の就労支援」：渡邊 修医師(慈恵医大附属第三病院リハビリ科)
- ・報告会：「事例から考える：就労支援について」渡邊 修医師×当事者×就労支援センター員×就労受け入れ企業

【4】行ってきました、聞いてきました！

* *

メルマガ編集担当者が加盟団体、関係団体等の活動を見学したり、高次脳機能障害関連の催しものに参加し、その内容、印象をご報告します。第2回は、株式会社言語生活サポートセンター訪問の記です。

『株式会社言語生活サポートセンター』、9月26日(月)14:00～15:00、荻窪駅西口徒歩5分

待ち合わせ時間の14時近くに外から中の様子を窺うと、代表取締役園田様と言語聴覚士(ST)でありセンター長兼相談員の坂井様のお二人と目が合い、にこやかに温かくお出迎え下さいました。今回は、お二人からお預かりした大切なメッセージを記しました。

* サポートセンターの利用方法は HP をご覧ください。

坂井さんからのメッセージ

- ・笑顔を忘れずにいること。それがより良い言語生活を営んでいただくことに繋がります。
- ・言語の理解には、「聞いて解かること」と「読んで解かること」の2種類があり、表出には「話すこと」と「書くこと」の2種類があります。4種類それぞれの障がいの程度は人により様々なので、その方に合わせた練習が必要となります。また、『話すこと』だけではなく、御自身も持っている力を利用しながら、すなわち表情やアイコンタクト、ジェスチャー、描画などの表現方法も使い相手とのコミュニケーションをはかっていきます。その方のもっている力を導き出し、お家での言語生活を想定しながらことばの練習ができる ST の力を養っていくことも大切ですね。
- ・ことばの回復には、『10日を1日と数え、1ヶ月で3日、1年で1ヶ月経ったと考える』くらい長い時間を要します。この長い時間を乗り越えていくために、是非、お仲間のいるところへ出かけ、みんなで一緒に頑張りましょう。

代表園田さんからのメッセージ

- ・2016年4月1日から当センターでは介護認定『要支援』の方はご利用ができなくなりました。
65歳以上の1号被保険者及び40歳以上65歳未満の特定疾病に含まれる脳血管障害者である2号被保険者のうち要介護の方が利用できます。また、39歳以下の脳血管障害や65歳までの脳外傷、低酸素脳症のかたは、介護保険では利用できません。全額自己負担でのご利用となります。このように、年齢や疾病により、利用者範囲が狭まることは非常に残念です。「リハビリをしたい方、全てにリハビリの機会がありますように」と言いたいのです。
- ・心臓も腎臓も肝臓も臓器。脳も身体の臓器ですよ。制度という、たて割の細かい枠を作りそこに無理やりあてはめ、年齢や脳損傷の原因・手帳や介護保険の認定の程度でリハビリの機会を奪われリハビリテーション(社会的復権)の権利が侵されています。同じ社会的障壁を持つものであればすべて福祉行政の中で切れ目のない支援ができるようにしてほしい。と切に思います。

インタビューを終えて、グループで言語訓練の様子を拝見させていただきました。利用者の年齢は40代～80代と範囲が広く、その日の利用者の多くは男性でした。

STの園田さん(後で聞くと、園田代表のお嬢さん)を中心に、カードを選んだ園田さんが「私の選んだカードを当ててください。」と皆さんに問いかけ、質問とそれに対する答えを出し合いながら何のカードか当てるといふものでした。言葉というコミュニケーションツールを使いながら、想像力を掻き立て、和気あいあいと進みました。こうした言語訓練を重ねながら失語症を克服していく皆様に心打たれ、質が高く笑顔を絶やさぬ ST の育成にも力を注いでいる様子を垣間見ることができました。

<報告者>伊地山 敏